

小学校

s 4-12

4 学年

## 見取図

【ねらい】

観察や構成などの活動を通して、立体図形について理解する。

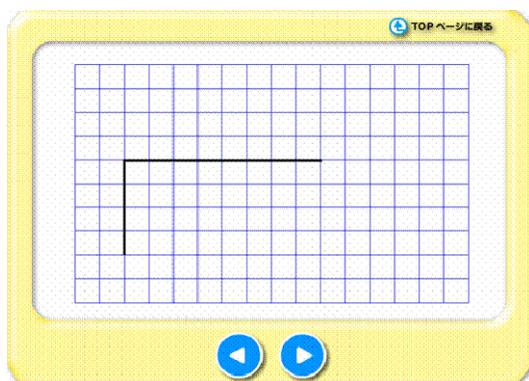
【特徴】

- ◇ 1クリックごとに辺が表示されます。
- ◇ 見えない辺は点線で表示されます。
- ◇ かき方の指導に有効なように縦の辺は、伸ばす先の点を示してから表示されます。
- ◇ 辺の長さや平行関係は保存されています。

【関連する単元】

- ◇ 小学 5 年「角柱・円柱」

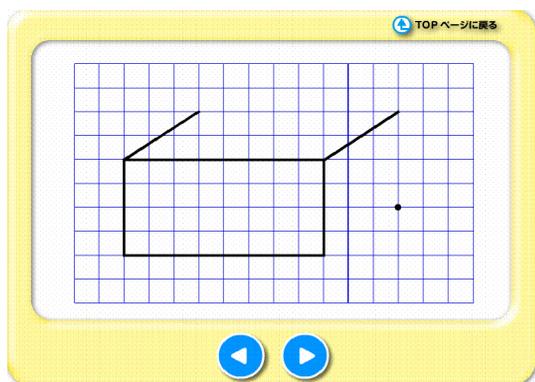
【活用場面】 算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



技能の定着が難しい見取図の作図指導に有効です

方眼上に1面を真正面にして、1クリック1辺で表示されていくので、定着の難しい見取図の作図指導に活用できます。

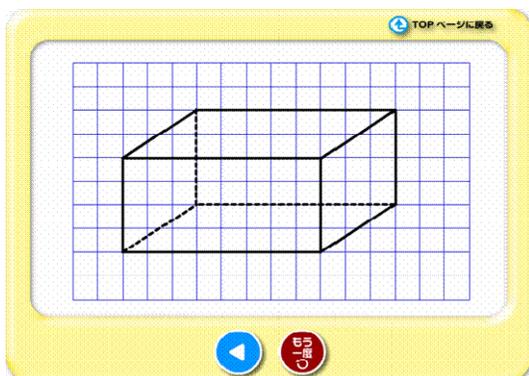
- ◇ 方眼に1クリックごとに辺が表示されます。児童の作図を確認しながら、指導することができます。
- ◇ 直方体の1面を正面にしているので、面の形や辺の長さがとらえやすくなっています。



辺や面の平行関係をとらえさせるのに有効です

縦の辺は、伸ばす先の位置が方眼上に示されてから辺が表示されるので、辺の平行関係の確認が容易です。

- ◇ 縦の辺は、クリックするとまず辺が伸びる先の位置がドットで表示されます。
- ◇ 2度目のクリックで辺が表示されます。
- ◇ 特に分かりにくい縦の辺の平行関係が容易にとらえることができ、後の辺と辺・面と面の位置関係の学習につなげやすくなっています。



見取図のかき方のきまりをしっかりと定着させることができます

見えない辺は点線で表示されるので、かき方のきまりや辺の位置関係などを理解させるのに有効です。

- ◇ 見えない辺はクリックすると点線で表示されます。
- ◇ 立体図形を平面上に見取図として表示した場合、見えない辺はどのように表されるのか、またどのような位置にくるのかが理解できます。
- ◇ 「もう一度」のキーで繰り返し表示することができるので、技能の確実な定着に有効です。